

第1回大峰道調査ウォーク（吉野編）実施報告

実施日：平成26年9月7日（日）

天気：曇りのち時々晴れ

参加者：北本、城戸、豊田、濱田、入谷、児玉 以上6名

予定ルート：

吉野山～金峯山寺～吉野水分神社～金峰神社（奥千本口）～四寸岩山～百丁茶屋～大天井ヶ岳～五番関～洞川バス乗り場

前日の天気予報では翌朝まで雨が残る可能性もあったが、幸いなことに曇天ながら雨の降る気配はなかった。



吉野駅前

橋本駅で全員合流し、吉野口駅で近鉄線に乗り換え、予定通り8:22に吉野駅に到着。駅舎を出ると、そこかしこに人が立ち、一瞬我々を出迎えてくれているのかと・・・勿論そんな訳もなく、よく見れば清掃イベントの集まりであった。

その中を縫ってすぐロープウェイの乗り場に着いたものの、ここで大きなトラブル発生。8:35発に乗る予定が、それは桜のシーズンのみで、今は9:20まで動かないとのこと。一瞬戸惑ったが、聞けば歩いて20分程度で上れるという。それならば、ということで、ここが本日のウォークのスタート地点となった。



聞いたとおり、約20分でロープウェイの吉野山駅前に着いた。



吉野山到着



ここから先は以前語り部の会の旅行で散策した経験がある。

坂道をゆっくりと登りながら黒門、銅の鳥居をくぐる。朝の割と早い時間帯だが沿道の店の多くは開いて、柿の葉ずしも買うことができる。



黒門前



銅鳥居

ロープウェイには乗れなかったが、早めにスタートできたので金峯山寺ではスケジュール通りの時間に合わせることができた。



金峯山寺仁王門



金峯山寺

ただ、そこからが勘違い。竹林院を過ぎ、その先のケーブルバス乗り場を奥千本口のそれと間違え、一時間近くも予定より早いと思い込んでしまった。



桜花壇



桜本坊



竹林寺



吉野の景観

吉野水分神社見学後そのことに気づき先を急いだが、奥千本口ケーブルバス乗り場では10分程度の遅れとなってしまった。



吉野水分神社



吉野水分神社



吉野水分神社



奥千本口バス乗り場

金峯神社への階段を上り、社殿の右側に行くのが大峰奥駆道。



金峯神社



旧女人結界の碑



青根ヶ峰との分岐に立つ旧女人結界の碑を過ぎると、左前方に大きな山が間近に迫ってきた。どうもこれが四寸岩山らしいが、山頂までどのように登るのだろうか・・・大変な急坂

が予想される。

ともかく上り口でまずは腹ごしらえ。その後登った頂上までの道は予想に違わず凄かった。



昼食



まさか・・・



まさか・・・



まさか・・・

とはいえ、時間的には30分程度か、疲労困憊でたどり着いた山頂ではほぼ予定通りの時間となっていた。「そのようにリードした」とはI氏の弁



まさか・・・



まさか・・・



・・・やっと到着



四寸岩山山頂

そこから先の下りは多少きついものの、登りに比べればはるかに楽。無人の避難小屋などを見学しながら、九十丁茶屋跡で車道に出る。



下りはルンルン



まさか・・・



足摺茶屋跡



ミストが心地よい



車道に出る



車道横切り百丁茶屋

ここから車道を行けば、距離は多少長いものの楽に五番関まで行ける。が、大峰奥駆道は車道を横切り大天井ヶ岳を越えて行かねばならない。

しばらくはなだらかな道が続く・・・、とここでアクシデント発生。H氏が右足の不調を訴える。どうも太もも付近に痛みと違和感があるとのこと。



百丁茶屋跡（二蔵小屋）

そのまま、百丁茶屋跡の二蔵小屋まで来たが、やはり大事を取って、H氏と付き添いにT氏がここから引き返して車道に行くこととなった。



残りの4名は、そのまま道なりに直進した・・・が、これが大間違い。
後々大ピンチを招く要因となろうとは。

行ったらあかん！→や右

道は、山腹の斜面を細く険しく続く・・・、(ただ尾根筋には出ない・・・) 徐々に道が荒れていくようになってきた。木橋は傾き通れないので降りて登る、滝で流された道はむき出しの岩肌をトラバースして越える。



と、その時、後ろから「道を間違えてる」とのI氏の声。

GPSによると、奥駆道と車道の間には別の山道が通っていて、どうもその道を行っているようで、先はどうなっているのか分からない。

ともかく、百丁茶屋跡まで引き返すことにした。



おかしいな？



これ、道か？



百丁茶屋へ引き返し

歩きにくい道をようやく百丁茶屋跡に引き返し、振り返って見ると、直進する道の右脇に大天井ヶ岳山頂→の表示が分かりにくく有り、よく見るとその方向へも道らしき跡は認められた。

しかし、時間を確認すると完全に1時間をロスしている。

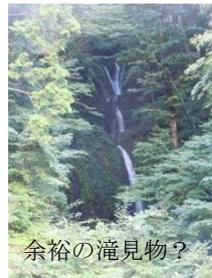
今から山頂を目指すのは無理と判断して、H氏・T氏の後を追うように九十丁茶屋跡まで引き返して、車道に行くことにした。



1時間のロス、気は焦る



これは何の木？



余裕の滝見物？



五番関まで後少し

時間はすでに16:00を回っている。

焦る気持ちのまま、それぞれが最速のスピードで歩くが、未経験の道は時間の予想がつかない。一見平坦な道も徐々にではあるが登っていて、早足で歩くと結構しんどい。

五番関手前のトンネルが見えてきた時にはホッとした。



トンネルを抜けたところで先行した H 氏・T 氏それに最速の I 氏が待っていてくれた。

しばし立ち止まって休息、全員が揃ったところで時計を見ると 17:00 をはるかに回っている。

下市行のバスは洞川発 17:55。タクシーを呼ぶことも考えたが、I 氏の「45分あったら行けますよ。」の一言で全員バス乗り場まで歩くことにした。

道は緩やかな下りではあるが、やはり長い。足早に歩いているつもりでも疲れた足ではなかなかピッチは上がらない。

ゴロゴロ水の取水場まで来ると、ここから先は知っているだけに時間が無いことに一層焦る。



ようやく行者宿の立ち並ぶ街中に差し掛かった。時計を見ると、17:45。

I 氏が先行していて、私が二番手。後が4人だから、私が間に合えば、後はタクシーに乗り合わせる事ができる。

それでもバス乗り場が、街の西の端にある温泉センターなら私も間に合わないかも・・・、と思った矢先に、携帯が鳴る。

歩きながら取ると H 氏から。

なんということか、4人とも軽四に乗せてもらってバス停に向かっていると言う。一気に最後尾になったようだ。

「もし見かけたら私も拾って」、とお願いした矢先に「バス乗り場」の表示が目に入った。やれやれ、バス乗り場は街中にあった。

右手の橋を渡り、左に折れるとすぐ着いた。時計を見ると 17:50。

ほどなく、4人を乗せた軽四も到着して、全員無事にバスで帰途に着くことができた。

聞けば、このバスが最終便とのこと。

軽四のお婆・・・いや、お姉さま、ありがとうございました！

ということで、調査は未達のまま終えることとなったが、ともかく全員予定通り帰ることができただけでもありがたいと思う一日であった。（歩行距離：27km）
まずはめでたし、めでたし。

完